

保護者の協力で、学校に海の生き物が



旭小学校に新しく魚が入ったということなので、16日（金）に取材に伺いました。

水槽には、カゴカキダイ（左の写真の大きい魚）やたくさんのオヤビッチャが泳いでいました。右の写真のような、イソスジエビも多く見られました。



いずれも、保護者の方が持ってきてくだ

さったものです。学校へのご協力、たいへんありがたいことです。

また、廊下には、海洋教育のコーナーもあり、ネットワーク通信等が掲示されていました。（左の写真）

右の写真は、旭小学校3Fからの眺めです、高台に位置するので、三浦海岸方面がよく見えます。畑の向こうに海が見える、三浦によく見られる特徴的な風景です。



SDGsについてその6 「昨年度の海洋教育サミットより」

旭小学校6年生 「海洋プラスチックごみが海の生き物に与える影響 ～未来をよくするプロジェクト～」

「海洋プラゴミの現状」「海の生き物に与える影響」「いま私たちにできること」の3グループの発表がありました。プラゴミの現状について説明した後、自分たちにできることは何かを考え、「リユース、リデュース、リサイクル」の大切さを訴えました。また、三浦海岸でゴミ集めをした結果について、写真や実際のゴミを展示して説明しました。



初声小学校4年生 「海×人×ごみ ～減らそうゴミ、増やそう思い～」 ステージ発表



これまで取り組んできたビーチコーミングや、ゴミ拾い活動をしている人へのインタビューなどを通じて学んできたことを、初声地域を舞台にした劇で発表しました。最後に、全員で、「To save the sea ～ゴミ袋くらいなら～」を歌い、会場の参加者に思いを訴えかけました。

三浦市では、三浦市の学校教育全体構想で、「育てたい三浦の子ども像を育むための9つの具体的な取り組みについて、SDGsの視点を踏まえて推進する」と明記しています。市内の学校でも、SDGsについて学習する機会が増えています。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、

学校教育課まで 882-1111（内線428）